

# NPO 法人ファザーリング・ジャパン関西 2023 年度事業計画

( 2023 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 3 月 31 日 )

## 1 . ビジョン(VISION)・ ミッション(MISSION)・ 行動指針(SPIRIT)

平成 30 年度に行ったリブランディングにより、NPO 法人ファザーリング・ジャパン関西 ( 以下、FJK とする ) の団体として目指すビジョン等については、以下のものとする。

**Vision** 「自ら選択したライフスタイルを心から誇れる社会の実現」。

**Mission** 「父親の子育てをやバくする」

**キャッチコピー** 「笑ろてるパパがええやん！」

### 行動指針

- ・ 父親の目線を取り入れる。
- ・ 父親としての経験の活用
- ・ 父親の子育てをカタチにする ( 可視化する )

## 1. 令和 5 年度 キーワード

「父親軸で社会を觀よう」 ( 令和 4 年度は「FJK で、パパ友増やそうぜ！」 )

コロナ禍から、アフターコロナ、ウィズコロナな時代です。それは変化がより激しい社会なのかもしれません。 そのような変化の激しい社会の中において、父親軸に立って社会を觀ていくことは、ブレない軸を持ちながら歩んでいけることにつながるのではないのでしょうか。

昨年度の、「FJK でパパ友増やそうぜ」と併せて、今年度のキーワードは「父親軸で社会を觀よう」としました。

FJK の諸々のイベントや事業を通して、パパ友を増やし、その上、父親軸で社会を觀ていくことで、会員さん一人一人の歩みがより豊かになり、家庭がより笑顔になり、仕事

にも働き甲斐が増えていくのではないかと考えています。

父親として、つながりを広げ、深め、お互いを知り、影響し合う。

父親として、共につながり、共に学び、共に成長していく。

父親軸で社会を観ていくことで、ぶれない軸が持て、自身の成長や地域社会への貢献につながっていく。そんな思いで今年度は活動を行ってまいります。

## 2 . 事業計画、アクションプラン

### 「父親軸で社会を観よう」

「笑ろてるパパがええやん」のキーワードの下、「全ては会員のために」を基に活動を行っていく。

- ・ 会員は何を望んでいるのか？
- ・ 会員が FJK に求める価値は何か？
- ・ 何の為に、FJK に入会したのか？

昨年度に引き続き、これらの問いに答えていく。

その上で本年度のキーワード「父親軸で社会を観よう」を基に、活動をより対外的にも広げていく。

FJK ミッションである『父親の子育てを遊ぶようにおもしろくする』の基、

一昨年度 2021 年度以降、従来の自治体・企業からの子育て支援等に係る事業を縮小し、「全ては会員のために」を前面に出した会員向け事業を展開してきました。

結果として、自主事業として、会員さん向け、並びに会員さん企画、FJK 勉強等オンラインを中心に 94 回開催。参加者総数 1180 名(会員さん総数 789 名 未会員総数 391 名)  
令和 3 年度イベント総数 76 本 参加者総数 974 名 (会員さん 846 名 未会員さん 128 名)

おかげさまで、事業や FJK イベントを通して、

会員さんの多様なニーズに触れることが出来ました。

## 3つのニーズ。

### ①安心、安全な居場所としてのFJK

「父親同士のつながりを増やし、深め、育んでいく」

### ②父親を楽しむ場としてのFJK

「多様な父親のつながりを通して、影響し合い、楽しみを拡げていく」

### ③父親としての自己実現、成長と社会貢献が出来る場としてのFJK

父親軸で社会を観よう！

「行政向け、企業向け事業において、会員の活動の場を増やし、地域、行政、企業に斜めの串をさしていく」

これらのニーズに応える形として、FJK活動並びに事業活動を行っていく。

## 我々の成果指標(上記3つのニーズに対する成果指標)

- ・ 売上 ⇒ 会員数
- ・ 商品 ⇒ イベントや事業
- ・ 利益 ⇒ 会員満足度(イベント参加者数、参加率)

### ①安心、安全な居場所としてのFJK

「父親同士のつながりを増やし、深め、育んでいく」

- ・ 売上 ⇒ 会員数 → 会員数を令和8年度末までに、200人へ増やす。
- 令和5年度は、会員数104名 → 120名 パパ友を増やす!

### ②父親を楽しむ場としてのFJK

「多様な父親のつながりを通して、影響し合い、楽しみを拡げていく」

- ・ 商品 ⇒ イベントや事業 → 会員からの提案に応じていく。

令和3年76本実施 総数974名の参加者数→ 令和4年80本以上 参加者総数1000名以上

⇒令和4年度94本開催。参加者総数1180名(会員さん789名 未会員さん391名) **達成!**

→ 令和5年度は、100本以上.参加者数1200名以上 自主イベント数、参加者数を増や

す

### ③父親としての自己実現、成長と社会貢献が出来る場としての FJK

#### 「父親軸で社会を観よう！」

「行政向け、企業向け事業において、会員の活動の場、参画者を増やし、地域、行政、企業に斜めの串をさしていく。 会員の成長と社会貢献へ」

・ **利益** ⇒ 会員満足度→ 会員が参画出来るイベント、事業の提案、受託を増やす

R3 年度は、16 本/25 本 参加率 64%

R4 年度は 32 本/49 本、参加率 65% **達成**

「行政向け 22 本(総数 169%up)、 企業向け 27 本(総数 225%up) (内兵庫県 10 本)」

→ 令和 5 年度は、60 本 内会員参画事業数 40 本 (参加率 67%へ)

⇒ 会員のニーズを知り、掘り下げ、創造し、つくっていく。

これからの FJK の活動につなげていく。

「父親軸で社会を観よう」→ 父親軸で社会を生きよう、父親軸を社会に活かそう

## ( 1 ) 自主イベント

### ① 会員の「やりたい」を実現できる場を増やす。

「パパと子のあそぶ機会」「パパ同士が楽しむ、学び合う場」を創っていく。

多様な関係性を紡ぎ、既存の枠組みを超えたコロナ禍以降の新たな形も創造していく。

会員からの提案に、積極的に応えていく。

事業主体は、会員、もしくは、FJK 事務局側はフォローを行っていく。

・ 会員向、未会員、他団体とのコラボ等イベントの拡充、

#### 「会員向け」

・ FJK 的人狼ゲーム、FJK 的アナログゲーム、家族アルバム「かぞく日和」、  
夢共有フォトブック、 FJK 的座談会、FJK チャリティーブックサイクル

#### 「会員、未会員向け」

・ 自主学習会、FJK 的口読ショー、FJK 的オンライン読書会、FJK Place の拡充

#### 「他団体とのコラボ事業」

会員が他に所属されている団体や、つながりある他団体との合同イベントをとおして、  
つながりを拡げていく。 イキメン実践 PJ パパしるべ関西支店

#### 「父子キャンプ」

会員同士の交流を中心にパパ同士、父子でキャンプを行う。日帰り、宿泊も含む。前回企画したロケット発射プロジェクトをはじめ。地引網みやFJK的運動会とのコラボでの開催も今期は検討していく。

- ・ 公開型勉強会やシンポジウムの開催 2023年度は、リアル開催の拡充を目論む。

### 会員さん企画、ご提案イベント

令和4年度 イベント総数 94本 参加者総数 1180名 (会員さん 789名 未会員さん 391名)

令和3年度 イベント総数 76本 参加者総数 974名 (会員さん 846名 未会員さん 128名)

## ② 会員と地域を「つなげる」機会を増やす

地域で活動したい会員と、その地域の行政とのつながりをつくる。イキメン実践PJ  
会員の住む地域での市民委員や公募、推薦型の市民委員を担う機会を。自薦、他薦含む。  
会員が住む地域でのおやじの会やPTA活動への参画を後押し、フォローしていく。

- ・ 地域で活動したい会員の募集 各行政、担当課とつなげる。(既存のつながりの再活用)
- ・ 各市町村の様々な委員を担う人材の輩出、つながりをつくっていく。

イキメン実践PJとして、FJKの関係性を駆使してつながり育んでもらうように働きかける。

- ・ おやじの会やPTA活動への後押しを積極的に担っていく。

MLを通して、おやじの会やPTA活動の楽しさを発信していく。

PTAやおやじの会は特権だということを、伝えていく。

## (2) 各種事業(自治体・企業からの講座等の受託)

従来からの継続事業。自治体・企業の要望に応じ講座・イベントを実施。

- ・ その地域や企業と会員がつながることを前提に講師選定を含め進めていく。
- ・ 会員の参画による多様な父親のロールモデルを提案していく。
- ・ 講師費用に関して、既存の枠組みを中心に考えていく。

## (3) プロポーザル事業(自治体公募)

- ・ 今期に関しても、引き続き兵庫県との繋がりを最重要案件として、例年通りの「男性の家事・育児参画事業」並びに「男性の家事育児、働き方」案件の受託を必須ととしていく。
- ・ 会員の参画による多様な父親のロールモデルを提案していく。
- ・ その他、会員からのご提案があったり、会員の皆さんのお役に立つ場合、都度調整をおこなっていく。

## 行政、企業、団体からの受託事業

令和4年度 講演総数 49本(196%up) 行政向け 22本(169%up)、企業向け 27本(225%up) (兵庫県 10本)

令和3年度 講演総数 25本 行政向け 13本、企業、団体向け 12本(兵庫県 6本)

## (4) 広報活動

- ・メディア戦略に注力する。  
HPを通して、メディアへの働きかけサイトの構築。
- ・第三者に対して、FJKの活動、組織を伝え、広く周知を図り、組織の信用力を向上させる。
- ・ホームページHP(公式)の充実  
※会員情報の見直し 会員の紹介ページの強化 会員数の50%以上の紹介ページをつくる
- ・チラシ、リーフレットの製作、配布(公式)
- ・Facebook FJK関西(公式) ・ Facebook ネットワーク(非公式) ・ メールングリスト

## (5) 資金活動

自主事業の継続運営に向け、資金調達部門の強化を図る。

- ・会員数を増やす。 会員の皆さんの口コミ
- ・広報活動等における寄付募集の推進

## 3. 組織体制

正会員数 10名、賛助会員数 104名、会員数 114名(2023年 5月15日末現在)

総会後

理事長 桜井 一宇

副理事長 2名 浅山貴宏 堀恭平

理事 2名 島津聖 阿川勇太

新任理事予定者 4名 牛山太郎 下村千恵 藤原弥季 森田将悟

監事 1名 山崎 清治